

## 平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日から 26年3月31日まで

特定非営利活動法人女性技術士の会

### 1 事業の成果

科学技術発展のための普及啓発事業及び女性の職域に関する普及啓発活動では、理工系女子学生や女性技術者のキャリアに関する座談会（技術サロン）への協力、教育機関の要請に応じ職域紹介に関する講座への講師派遣の協力、各種イベントへ参画しパネル展示を実施する等前年度に引き続き各種の活動を展開した。女性の職域に関する啓発事業としては、26人の会員のワーキングキャリア等を紹介したポートフォリオ「行動する女性技術士たちー理系は楽しい・おもしろいー」Vol.2を発行した。

NPOとしての主要イベントである「まちづくりシンポジウム」は、サイエンスアゴラ会場で実施した。

国際会議における交流事業では、国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部（INWES-Japan）の運営に参画している。日本で開催された第5回日中韓女性科学技術指導者フォーラムの運営に携わり、本法人も発表を行った。日韓女性技術士との交流会も継続している。

高専機構主催の行事・「2013年度 高専女子フォーラム」の後援、他団体との協働、東日本大震災被災地域の学生を対象にした支援事業も継続した。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
科学技術発展のための普及啓発事業	技術サロンへの協力。JABEE課程及び理工系の女子学生と女性技術士の交流の場を設け、技術士資格や技術者のキャリア形成に関して活発な意見交換を実施した。	6月15日 9月21日 12月21日 3月15日	公益社団法人日本技術士会会議室	10	JABEE課程及び理工系の女子学生、技術系社会人等約40名	34.8
	関連団体が実施する催事でポスター展示により、技術サロン協力活動の紹介を行った。	1月25日	東京都	2	修習技術者等約250名	0
	東日本大震災復興支援事業の一環として理工系女子学生を応援するため、技術サロンへ女子学生を招待した。	9月21日 12月21日	公益社団法人日本技術士会会議室	1	東北地方在住学生4名	80
仕事と調和を目指した社会基盤整備啓発事業	「おもしろまちづくり」シンポジウムはサイエンスアゴラの会場で「生きものいるまちづくり-生物多様性は必要か?」をテーマに2名の講演者とともに意見交換を行った。	11月9日	日本科学未来館	15	会員、一般約50名	32.4

女性の職域に関する啓発事業	理科系大学等でのキャリア形成、職域紹介等の講演(山梨大学)ー技術士や企業内で働く技術者に必要なこと等を知る機会となっている。	4月19日	該当大学	1	理科系女子学生他約50名	0
	「女子中高生夏の学校2013」において理系の職域紹介等のパネル展示を行った。	8月9日	独立行政法人国立女性教育会館(埼玉)	8	女子中高生及び保護者約170名	15.5
	26人の会員のワーキングキャリア等を紹介したポートフォリオを編集、発行した。	8月1日発行	会員事務所	8	理科系女子学生及び一般500名	278.1
	男女共同参画学協会年次大会ポスター作製に協力した。	11月	ー	6	研究者、技術者等不特定多数	10
国際会議における交流事業	国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部(INWES-J)へ会員を派遣し運営に参画した。	年間	INWES-J 事務所他	委員4	海外含む女性技術者不特定多数	0
	日韓女性技術士交流会において、日本側は「未来科学技術時代における技術士の役割ーつよくしなやかにー」と題した発表を行った。文化交流、懇親会により相互理解を深めた。	10月17日	水原(韓国)	6	日韓女性技術士21名	12.7
	第5回日中韓女性科学技術指導者フォーラム開催への協力、会員の講演、バンケットの運営等行い、研究者、技術者との交流を行った。	11月12日	日本大学会館	7	研究者、技術者及び技術士を目指す女子学生・女性約200名	0
その他目的を達成するための必要な事業	ウェブサイト更新により法人活動の普及啓発のための情報を発信、充実に努めた。	随時	法人事務所他	6	不特定多数	0
	法人活動の定期的な広報を目的として「ニュースレター」を発行した。	4、8、10、1月末発行	法人事務所他	6	不特定多数	7.5
	2014年中央ろうきん助成プログラム応募	1月	メール使用	6	ー	0

(2) その他の事業

ー

## 25年度 活動計算書

平成25年 4月 1日から 平成26年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 女性技術士の会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	212,000	
協力会員受取会費	16,000	
賛助会員受取会費	34,000	
2 受取寄附金		
受取寄附金(福島学生支援として)	80,000	
受取寄附金(ポートフォリオ作成)	227,500	
受取寄附金(指定なし)	133,500	
3 受取助成金等		
受取補助金	0	
4 事業収益		
	0	
5 その他収益		
受取利息	177	
技術サロン等費用立替え戻り	50,802	
経常収益計		753,979
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
(1) 科学技術発展のための普及啓発事業		
技術サロン		
交通費(福島学生支援 招待費用)	80,000	
印刷製本費	30,000	
通信運搬費	4,770	
(2) 女性の職域に関する啓発事業		
ポートフォリオの作成および送付		
会場費	4,400	
印刷製本費(PFおよびチラシ)	273,700	
通信運搬費	6,230	
女子中高生夏の学校		
交通費	3,000	
印刷製本費	12,498	
男女共同参画学協会年次大会		
印刷製本費(ポスター)	9,178	
通信運搬費	800	
(3) 国際会議における交流事業		
日韓女性技術士交流会		
通信運搬費	80	
交際費(お土産代)	12,495	
手数料(銀行振込)	105	
(4) 仕事と調和を目指した社会基盤整備啓発事業		
アゴラ		
交通費(講師3名分)	30,000	
会場費	2,200	
会議費	156	
(5) その他目的を達成するために必要な事業		
通信運搬費(ウェブサイト維持費)	7,482	
その他経費計	477,094	
事業費計		477,094

2	管理費			
	(1)人件費			
	人件費計	0		
	(2)その他経費			
	総会費用	24,030		
	会場費（理事会）	13,200		
	会場費（各部会）	17,600		
	会場費（新年会）	5,800		
	会議費	7,500		
	事務用品費	748		
	通信運搬費	1,160		
	その他経費計	70,038		
	管理費計		70,038	
	経常費用計			547,132
	当期経常増減額			206,847
III	経常外収益			
	経常外収益計		0	
IV	経常外費用			
	経常外費用計		0	
	税引前当期正味財産増減額			206,847
	法人税、住民税及び事業税			0
	当期正味財産増減額			206,847
	前期繰越正味財産額			1,038,488
	次期繰越正味財産額			1,245,335